

[平成19年度設置]

琉球大学大学院 保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）

設置に係る設置計画履行状況報告書（抜粋）

国立大学法人 琉球大学
平成20年4月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 医学部事務部

職名・氏名 ソウム 総務係長・カガミ 加賀美 ヒデフミ 英志

電話番号 098-895-1009

（夜間） 098-895-1009

F A X 098-895-1090

e-mail igzsoumu@to.jim.u-ryukyu.ac.jp

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	施設・設備の整備状況, 経費	6
4	既設大学等の状況	7
5	教員組織の状況	8
6	留意事項に対する履行状況等	11
7	その他全般的事項	12
別紙	「A 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」	16
資料 1	琉球大学医学教育企画室設置要項	17

大学院等設置に係る設置計画履行状況報告書

1 調査対象大学院等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人琉球大学

(2) 大学院名

琉球大学大学院保健学研究科 保健学専攻(博士後期課程)

(3) 大学院の位置

沖縄県中頭郡西原町字上原207番地
(沖縄県中頭郡西原町字千原1番地)

(4) 管理運営組織

職名	認可時	変更状況	備考
学長	モリ タ モウ シン 森 田 孟 進 (平成11年6月1日)	イワ マサ テル オ 岩 政 輝 男 (平成19年6月1日)	平成19年6月1日付けで学長に岩政輝男が就任した。⑩
研究科長	ホカ マ ト ミ コ 外 間 登 美 子 (平成16年4月1日)		

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の名称(学位)	認可時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
保健学研究科 保健学専攻(博士後期課程) 博士(保健学)	3 年	3 人	9 人	基礎となる学部名等 医学部保健学科、保健学研究科博士前期課程

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分 \ 対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平均入学定員超過率	備考
A 入学定員	(-) 3 人	(-) 3 人	() 人	1.16 倍	
志願者数	(7) 10	(6) 6	()		
受験者数	(7) 10	(6) 6	()		
合格者数	(3) 4	(3) 3	()		
B 入学者数	(3) 4	(3) 3	()		
入学定員超過率 B/A	(1.0) 1.33	(1.0) 1	()		

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

対象年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	備考
1年次	[0] 4	[0] 3	[]	
2年次	[]	[0] 4	[]	
3年次		[]	[]	
計	[0] 4	[0] 7	[]	

(5) -④ 調査対象研究科等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成19年度	計 [0] 0	計 [0] 4	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 4人	
	(主な退学理由)		
平成20年度	計 [0] 0	計 [0] 7	[0%] 0%
	うち平成19年度入学者 0人	うち平成19年度 4人	
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 3人	
(主な退学理由)			
平成21年度	計 []	計 []	[%] %
	うち平成19年度入学者 人	平成19年度 人	
	うち平成20年度入学者 人	平成20年度 人	
	うち平成21年度入学者 人	平成21年度 人	
(主な退学理由)			

2 授業科目の概要

<保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）>

(1) 授業科目表

授業科目の名称	配当 年次	単位数又は時間数			専任教員配置					備考
		必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
保健学特別講義（前）	1	2			5					
人間健康開発学特論（後）	1	2			4					
健康増進開発学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
健康長寿看護学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
人間行動開発学特論	1・2		2		1					
母子支援看護学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
高齢期支援看護学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
緩和看護学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
生理機能解析学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
生体代謝解析学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
生体機能解析学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
特別研究Ⅰ（通）	1	4			7					
特別研究Ⅱ（通）	2	4			7					
国際島嶼保健学特論（後）	1	2			3					
国際環境保健学特論	1・2		2		1					
国際小児保健学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
島嶼地域看護学特論	1・2		2		1					
感染看護学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
血液免疫解析学特論	未開講 1・2		2		1					平成20年度前学期履修希望者なし⑩
形態病態解析学特論	未開講 1・2		2							平成20年度前学期履修希望者なし⑩
特別研究Ⅰ（通）	1	4			5					
特別研究Ⅱ（通）	2	4			5					

(2) 授業科目数

認可時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
7	15	0	22	7	15	0	22	
				[]	[]	[]	[]	

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	健康増進開発学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
2	健康長寿看護学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
3	母子支援看護学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
4	高齢期支援看護学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
5	緩和看護学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
6	生理機能解析学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
7	生体代謝解析学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
8	生体機能解析学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
9	国際小児保健学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
10	感染看護学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
11	血液免疫解析学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳
12	形態病態解析学特論	2	1・2	選択	平成20年度前学期履修希望者なし⑳

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし				
2					
3					

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成20年度に開講しなかった科目は、履修希望者がいなかったため、学生の卒業要件などに支障をきたすことはない。

学生への周知は掲示板により行う。かつ、直接教務担当職員が学生へ連絡・周知するとともに、時間割配当表、履修要綱を配布している。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = 54.54\%$$

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	貸与者 沖縄県、沖縄森林管理署 H20.4.1~H21.3.31㊹ H19.4.1~H20.3.31㊹			
	校舎敷地	584,990㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	584,990㎡ (0㎡)				
	運動場用地	93,280㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	93,280㎡ (0㎡)				
	小 計	678,270㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	678,270㎡ (0㎡)				
	そ の 他	7,744,548㎡ (6,981,452㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	7,744,548㎡ (6,981,452㎡)				
	合 計	8,422,818㎡ (6,981,452㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	8,422,818㎡ (6,981,452㎡)				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		157,117㎡ (157,117㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	157,117㎡ (157,117㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		96室	97室	289室	10室 (補助職員 3人)	10室 (補助職員 2人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		保健学研究科保健学専攻博士後期課程			17 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	医学部	
	保健学研究科 保健学専攻	122,154[62,543] (122,154[62,543])	3,482 [1,508] (3,482 [1,508])	2,193 [2,193] (2,193 [2,193])	958 (958)	2,352 (2,352)	21 (21)		
	計	122,154[62,543] (122,154[62,543])	3,482 [1,508] (3,482 [1,508])	2,193 [2,193] (2,193 [2,193])	958 (958)	2,352 (2,352)	21 (21)		
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		9,938㎡		796席	1,007,750冊				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		5,245㎡		グラウンド、サッカー場、野球場、プールその他					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		該当無し							

4 既設大学等の状況

大学の名称	琉球大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
法文学部									
総合社会システム学科 (昼間主コース)	4	170	12	794	学士(法学、経済学、政策科学・国際関係論、総合社会システム学)	1.04	平成9年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
総合社会システム学科 (夜間主コース)	4	30	8	176		1.09	平成9年度		
人間科学科	4	95	3	386	学士(人文社会)	1.06	平成9年度		
国際言語文化学科 (昼間主コース)	4	80	3	326	学士(人文学)	1.07	平成9年度		
国際言語文化学科 (夜間主コース)	4	30	4	128	学士(人文学)	1.01	平成9年度		
観光産業科学部									
観光科学科	4	60	—	200	学士(観光学)	1.02	平成17年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
産業経営学科 (昼間主コース)	4	60	—	120	学士(経営学)	1.01	平成19年度		
産業経営学科 (夜間主コース)	4	20	—	40	学士(経営学)	1.12	平成19年度		
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	100	—	400	学士(教育学)	1.09	平成11年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
生涯教育課程	4	90	—	360	学士(教育学)	1.02	平成11年度		
理学部									
数理科学科	4	40	—	160	学士(理学)	1.03	平成8年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
物質地球科学科	4	65	—	260	学士(理学)	1.05	平成8年度		
海洋自然科学科	4	95	—	380	学士(理学)	1.04	平成8年度		
医学部									
医学科	6	95	5	590	学士(医学)	1.00	昭和54年度	沖縄県中頭郡西原町字上原207番地	
保健学科	4	60	—	240	学士(保健学)	1.02	昭和56年度		
工学部									
機械システム工学科 (昼間主コース)	4	90	3	366	学士(工学)	1.00	平成5年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
機械システム工学科 (夜間主コース)	4	20	—	80	学士(工学)	1.12	平成5年度		
環境建設工学科	4	90	4	368	学士(工学)	1.02	平成5年度		
電気電子工学科 (昼間主コース)	4	80	3	326	学士(工学)	1.05	平成5年度		
電気電子工学科 (夜間主コース)	4	10	—	40	学士(工学)	1.20	平成5年度		
情報工学科	4	60	—	240	学士(工学)	1.06	平成5年度		
農学部									
生物生産学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06	平成3年度	沖縄県中頭郡西原町字千原1番地	
生産環境学科	4	40	—	160	学士(農学)	1.06	平成3年度		
生物資源科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08	平成3年度		

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
認 可 時 (平成19年4月1日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成20年4月1日)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (平成 年 月 日)			

7 その他全般的事項

<保健学研究科 保健学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

認可時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特に変更なし	

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 平成17年7月医学教育企画室設置要項が制定され、室長1名（兼任）、教員3名（兼任）が配置された。 （本専攻の教員が医学教育企画室に配置されており、医学部が主催するFD活動にも積極的に参加し、授業改善等、教員の資質の維持向上に努めている。）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 平成19年4月17日に開催 教員8名（臨床実習WG委員4名含む） 平成19年6月7日に開催 教員8名（臨床実習WG委員4名含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等 （1）共用試験ならびに総合試験に関する事。 （2）教育についてのFD（ファカルティ・ディベロップメント）に関する事。 （3）教育カリキュラムに関する事。 （4）教育評価に関する事。 （5）その他、教育改革に関する事。</p> <p>② 実施状況 ※実施されている取組を全て記載すること。</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学外講師による講演 ・ 客員教授による「国際保健に関する」公開授業や遠隔講義 ・ 授業評価アンケート <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学外講師による講演会 ・ 客員教授による公開講義等 ・ 遠隔講義による公開講義 ・ 学生による授業評価 <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>1. 講演会 日 時：平成19年9月13日 演 題：「臨床実習に関するFD」 講 師：川崎医科大学呼吸器内科学講座教授 岡三喜男氏 参加者：教員35名、メディカル職員2名、学生等18名、事務13名</p>

2. 講演会 日 時：平成20年3月19日

演 題：「沖縄県の医療行政と大学の関わりについて」

講 師：沖縄県福祉保健部 保健衛生統括監 仲宗根正氏

参加者：教員13名、コメディカル職員1名、学生等5名、事務12名

3. 客員教授による特別講義等

(1) 日 時：平成19年10月9日～31日(5回)

講 師：Colin W. Binns カーティン工科大学教授(オーストラリア)

講義内容：Tools for beginning research Research Designs for PhD's Candidacy

参加者：教員5名、学生12名

(2) 日 時：平成19年10月15日～19日(5回)

講 師：Colin W. Binns カーティン工科大学教授(オーストラリア)

講義内容：Writing a paper:What editors are Looking for

参加者：教員11名、学生3名

(3) 日 時：平成19年11月16日

講 師：Colin W. Binns カーティン工科大学教授(オーストラリア)

講義内容：Health longevity starts with Birth weight and Breast Feeding

参加者：教員13名、学生19名

(4) 日 時：平成19年11月26日

講 師：井筒悟ハワイ大学マノア校副医学部長

講義内容：PBL Method The American System of Medical Education

参加者：教員14名

(5) 日 時：平成19年11月27日

講 師：井筒悟ハワイ大学マノア校副医学部長

講義内容：The World Health Report 2007

参加者：教員5名、学生6名

(6) 日 時：平成20年2月8日

講 師：Bradly J. Willcox ハワイ大学准教授

講義内容：Mid-Life Factor and Healthy Aging:Novel Findings from the Hawaii Lifespan Study and Okinawa Centenarian Study

参加者：教員16名、学生9名

(7) 日 時：平成20年2月21日

講 師：Soo Jin Yoon 延世大学国際サイバー公衆衛生大学院准教授(韓国)

講義内容：Experience of e-learning(PBL/CBL):IMCH course in a ICUH

参加者：教員12名、学生9名

(8) 日 時：平成20年2月26日

講 師：Walter K. Patrick ハワイ大学マノア校医学部教授

講義内容：APACPHの活動、将来構想について

参加者：教員8名

(9) 日 時：平成20年2月26日

講 師：Walter K. Patrick ハワイ大学マノア校医学部教授

講義内容：Acute & emergency Infections Disease

参加者：教員5名、学生11名

(10) 日 時：平成20年3月14日

講 師：Hiroko Dodge オレゴン州立大学准教授

講義内容：Epidemiology of Dementia : Potential Contributions from the Okinawa Elderly

参加者：教員13名、学生8名

(11) 日 時：平成20年3月29日

講 師：Hiroko Dodge オレゴン州立大学准教授

講義内容：Clinical Trail ABC

参加者：教員5名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・公開講義終了後、客員教授と保健学研究科教員による授業改善の方策を検討している。
- ・遠隔講義方法の検討を行っている。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

(別紙のとおり)

② 自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

- ・平成22年5月頃公表予定

平成21年度中(学年進行完成年度)に保健学研究科博士後期課程の状況(年次計画終了時の学位取得状況等を含めて)を総括する。

そのうえで、認証評価に向けた全学的な評価スケジュールと連動した自己点検・評価を平成21年度に実施する。その公表については、認証評価の評価結果後に行う予定である。

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行し、国内の大学院及び希望があった学生に各1冊を配布予定。
- ・ホームページ上に公開予定。

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成21年度に大学評価・学位授与機構を第三者評価機関として、認証評価を受ける予定。

(4) 情報提供に関する事項

① 設置認可申請書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (19年 4月 11日)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置認可申請書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/general/houjin_siryou/setti_keikaku/)

② 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (19年 9月 1日)

c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)

d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(http://www.u-ryukyu.ac.jp/univ_info/general/houjin_siryou/setti_keikaku/)

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

琉球大学大学院保健学研究科の設置の趣旨・目的は、熱帯・亜熱帯地域における心身ともに豊かな健康・長寿に資する幅広い学識と高度な研究能力を有する保健医療分野の研究者及び指導者を養成することである。研究教育組織は人間健康開発学、国際島嶼保健学の2領域がある。熱帯・亜熱帯地域における健康問題解決や健康の保持増進を保健学的アプローチの研究・実践を推進し、高齢社会の健康長寿を支えるとともに、学生に広い学究的視野をもたせ、グローバル社会における保健学の特性を理解させ、沖縄でしか学べないことを学び、研究成果をあげていくことを目指している。設置後新年度は4人の入学生を迎えることができた。

平成19年度の補正事項として①田中康春教授（8月）と②国吉緑教授（12月）について教員資格審査を受け許可を得た。国吉緑教授は、平成19年4月10日付けで退職した赤嶺依子教授の後任であり、特に学生への影響を配慮した。また、客員教授を海外より招聘し、特別講義、セミナー等を実施することができた。

平成20年度は3人の入学生を迎えることができたので、さらに心身ともに豊かな健康・長寿のパラダイム構築に貢献出来る人材の養成に努めたい。

琉球大学医学教育企画室設置要項

平成17年7月27日
制 定

(設 置)

第1条 琉球大学医学部（以下「本学部」という。）に、医学教育企画室（以下「教育企画室」という。）を置く。

(目 的)

第2条 教育企画室は、本学部における教育の計画、立案及び評価を行い、もって本学部における教育改革を推進し、その発展に寄与することを目的とする。

(業 務)

第3条 教育企画室は、次の各号に掲げる業務を行なう。

- (1) 共用試験並びに総合試験に関すること。
- (2) 教育についてのFD（ファカルティ・ディベロップメント）に関すること。
- (3) 教育カリキュラムに関すること。
- (4) 教育評価に関すること。
- (5) その他、教育改革に関すること。

(組 織)

第4条 教育企画室に、次に掲げる職員を置く。

- (1) 室長（兼任）
 - (2) 教員（兼任） 若干人
 - (3) 室員（非常勤職員） 若干人
- 2 室長は、医学部教授の中から医学部長が委嘱する。
- 3 教員は、次に掲げる者を医学部長が委嘱する。
- (1) 医学科及び保健学科から推薦された者（医学科2名、保健学科1名）
 - (2) その他、医学部長が必要と認めた者

(任 期)

第5条 室長及び教員の任期は2年とし、再任を妨げない。ただし、欠員が生じた場合の任期は、前任者の残任期間とする。

(専 門 部 会)

第6条 教育企画室は、必要に応じて専門部会を置くことができる。

(事 務)

第7条 教育企画室の事務は、学務課において処理する。

(雑 則)

第8条 この要項に定めるもののほか、教育企画室に関し必要な事項は、学部長が別に定める。

附 則

この要項は、平成17年7月27日から施行する。